



## 2学期始業式 校長講話より

### 「あいさつは、自分から」

私からは、1学期の始業式でもお話ししましたが、「あいさつは自分から」ということについてお話をします。日頃から、私たちは、様々場面で「あいさつは大切」「あいさつをしよう」と言われています。それは中学生だけではありません。先生を含め、大人だって昔からずっと言われ続けてきました。

では、もう既に聞いたことがあるかもしれませんが、そもそも、あいさつとは何なのか、どのような意味があるのでしょうか。みなさんはどのように思っていますか。

少し先生の考えをお話しさせていただきます。

まず、「挨拶」は漢字でこのように書きます。それぞれの漢字の意味は、「挨」は「押す」「近づく」積極的に突き進むこと。「拶」は「迫る」。相手に切り込んでいくこと。



部活後にあいさつする生徒たち

仏教の禅宗には「一挨一拶」(いちあいいつさつ)という言葉があります。「一挨一拶」とは、師匠が弟子とひとつ押しひとつ迫るようにことばをやりとりして、相手の修行の深さを試す意味につかわれています。

現在では、このあいさつとは、辞書を調べると、「尊敬や親愛の気持を表わす動作、言葉、文面」とありますが、言葉の起こりを考えると、相手の心に近づいて、心の本質に迫り、相手の心を押し量ること、ということなのでしょう。こう考えると、皆さんにも、詩だとか歌だとか、今まで先生に言われたことだとか、心にせまる言葉、メッセージというものがあったと思いますが、「こんにちは」だとか、「お願いします、すいませんでした」といったような、何気なく使っている一言に、実は心に迫る大きなメッセージがあるものだ、というように考えて良いと思います。

今年、私たちの学校で合い言葉のようにして大切にしようとしている「あいさつは自分から」は、とても素敵です。それは、日々のきまった形のようなものかも知れませんが、続けていくことで「進んで、相手に尊敬を表し、相手の心を押し量れる、人間の人間らしいことができる自分」を作り、そんなあなたの素晴らしさを周囲の人がしっかりと認めていくことにつながっていくのです。

少し調べると、あいさつがいかに大切であったかについて、様々な業界で活躍する人が、自分の考えや体験を語っており、私たちの人生のこれからに役立つようなものが多数ありますので、みなさんも機会があったら調べてみたらいかがでしょうか。

### 国際交流マリスト校訪問報告会

夏休み中に実施された国際交流の報告に村役場へ訪問させていただきました。派遣された生徒一人一人がホストファミリーとの思い出やマリスト校生徒との交流を振り返り、学んできたことを北村村長様、杵掛教育長様に村を代表して聞いていただきました。

どの生徒も今回の派遣で生涯忘れ得ぬ貴重な体験ができた喜びを語っていました。生徒15名職員2名が無事に国際交流を終えることができたのは、村の皆様の厚いご支援の賜と一同感謝しております。

今回の交流について、9月末に行われるこまゆみ祭でも発表します。是非、ご来校いただき、ご覧ください。



### 資源回収、ありがとうございました。



8月27日(土)に資源回収を行いました。当日朝の天候の状況から村民の皆様にはご心配をおかけしましたが、無事予定通り終えることができました。

毎年、村民の皆様には大変ご協力をいただき、たくさんのアルミ缶、ビール瓶等を回収させていただいております。村の皆様からのご支援を実感し、生徒、職員共に感謝の思いを改めて抱いた1日にもなりました。ご支援ご協力、ありがとうございました。

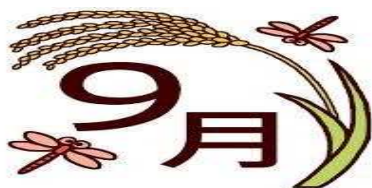
### 信州大学人文学部生来校

8月24日(木)～25日(金)、信州大学人文学部の学生13名が来校し、「教科指導法特論Ⅱ」の授業の一環として、本校の授業等の参観から、教師としての指導のあり方を学びました。学生たちは生徒と給食、清掃、部活動などを共に行い、気づきを意見交換したり発表したりしました。また、杵掛教育長様より青木村の教育についてお話いただき、保小中一貫教育や地域と共にある学校づくりについて理解を深めました。



#### 【学生の感想より】

私は今まで自分が経験してきた教育しか知らなかったもので、こうして別の環境で指導者の立場から教育の現場を見ることができ、非常に多くのことを学ばせていただきました。青木村の教育は、学校の環境のみならず、村の環境全てが関わっており、非常に子どもたちが学びやすい場があると感じました。子どもたちの教育のために村全体が様々な工夫をしていることを身をもって感じることができました。



1(金) 防災講座

6(水) 教育課程研究協議会(2年A組登校・1, 3年計画休業)

9(土) 吹奏楽部交歓演奏会 25(月) 集金日

29(金)・30(土) 第51回こまゆみ祭